

■ 目標値未達成の要因について

法人名 | 公益財団法人 大阪府国際交流財団

[1]

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
ホームページアクセス数	件	86,000	78,186	△ 7,814

未達成の要因					要因分析（要因と考える根拠）					要因分析を踏まえた今後の対応
①	ホームページの認知度不足				・ターゲットである外国人に十分にホームページの存在が知られていないと考えられる。					<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校等、外国人と接する現場と連携した出張相談会を開催し、併せて財団HPを広報する。 ・関係機関に対し財団HPへのリンク掲載を依頼し、財団HPに誘導する。 ・facebook, Twitterの発信増に加え、その他のSNSによる情報発信を検討する。
	関連項目名	ホームページアクセス数	単位	件	R4当初想定値	86,000	R4実績値	78,186	差	
②	タイムリーな情報発信が困難なホームページの仕様				<ul style="list-style-type: none"> ・財団職員直営によるホームページ更新に限度があり、業者による作業（有償となる場合もあり）が必要であることから、ホームページの更新・改修頻度が遅い。 ・結果、一度ホームページを閲覧した方にも再訪してもらえるような魅力あるホームページになっていない。 					<ul style="list-style-type: none"> ・facebook, Twitterの発信増に加え、その他のSNSによる情報発信を検討する。 ・令和6年度のホームページリニューアルに向けて開発に取り組む。
	関連項目名	ホームページアクセス数	単位	件	R4当初想定値	86,000	R4実績値	78,186	差	
③										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 大阪府国際交流財団

[2]

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
収入確保	千円	9,000	5,483	△ 3,517

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）					要因分析を踏まえた今後の対応		
①	・民間（企業）にとって直接的な便益となり得る事業の不足			・協賛金獲得に向けたアプローチを積極的に行ったものの（実績 35 件）、企業の利益につながる具体的な事業や協賛へのインセンティブを示すことができず収入確保に至らなかった。 ・協賛を依頼したが実現しなかった企業からは、企業にとってプラスとなる具体的な要素がなく、協賛に賛成を得られるよう社内で説明できないことが課題、との意見をいただいた。							・外国人労働者を多数雇用する企業など、多文化共生に関心の高い企業をターゲットとした事業を推進し、企業として財団を協賛することのメリットを提示する。 事業例) やさしい日本語研修、日本人住民とのコミュニケーション改善に資する生活オリエンテーションの試行など
	関連項目名	協賛金・寄付金収入	単位	件	R4当初想定値	3,430	R4実績値	1,594	差	△ 1,836	
②	・助成事業の不採択および補助事業の実績低調			・一般財団法人自治体国際化協会（クリア）の助成事業を申請したが、不採択だったため。 ・ウクライナ避難民受入環境整備事業について、当初見込みより翻訳・通訳依頼件数が少なかったことから、補助金の実績額が見込みを下回ったため。							・助成事業の採択に向け、交流の拡大や発展が見込まれ、地域住民等の幅広い参画が見込まれる事業や、他の地方公共団体及び地域国際化協会のモデルとなり得る先駆的な事業を検討する。 ・他団体の助成事業についても広く情報収集に努め、助成獲得をめざす。
	関連項目名	収入額	単位	件	R4当初想定値	5,570	R4実績値	3,889	差	△ 1,681	
③											
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差		